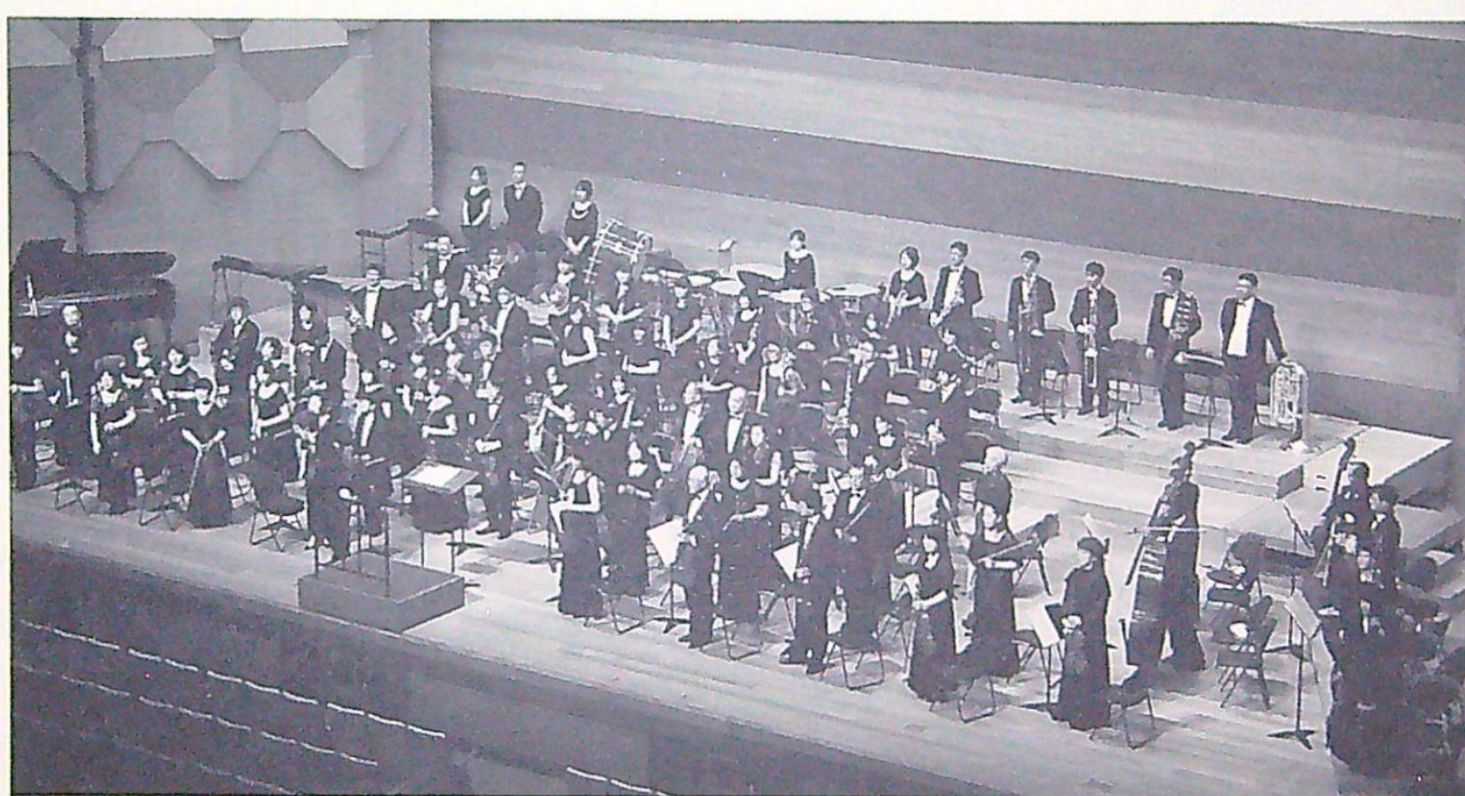


音楽溢れる街たましま

第4回 親子で楽しむ

クラシックコンサート



倉敷管弦楽団演奏会

指揮 菊池 東

平成25年10月14日（月・祝）開演14:00

倉敷市玉島文化センター

主催	玉島信用金庫		
後援	玉島商工会議所		
協賛	倉敷芸術科学大学	くらしき作陽大学	中国職業能力開発大学校
	玉島商工会議所青年部	(社)玉島青年会議所	玉島みなと若旦那会
	玉島湊保勝会		

曲目解説

交響詩「禿山の一夜」ニ短調

ムソルグスキーは、19世紀のロシアの作曲家です。ある禿山で深夜、悪魔や精霊や化け物が不気味に踊り狂い、雄叫びをあげる様を描くグロテスクな音楽です。やがて、夜明けが近づくにつれ、化け物たちが、少しずつ消えてゆき、やがて誰もいなくなります。鐘がなり、穏やかな夜明けを迎えます。

グリーン・スリーヴズ幻想曲

イギリスの作曲家ヴォーン・ウィリアムズが、グリーン・スリーヴズをはじめイギリスの古い民謡をもとにして作曲した幻想曲です。弦楽器主体の曲ですが、フルート独奏とハープが印象的です。

協奏曲集「四季」より「春」、「冬」

バロック時代の作曲家ヴィヴァルディの代表作で、日本では大変ポピュラーで、おそらくどこかでお聴きになったことがあると思います。

春、夏、秋、冬をそれぞれの詩（ソネット）をもとに音楽がつくられています。

今回演奏する、春、冬のソネットを紹介します。

「春」

春がやってきた。楽しげに、小鳥が幸せに満ちた歌を歌い、喜んで春を迎える。

小川の流れは、西風の息吹にささやいている。そのうちに空は黒雲に包まれ、春の兆しのように雷鳴がとどろき、稲妻が光る。やがて嵐は去り、小鳥がふたたび喜びの歌声を上げる。一方、花咲きほころ牧草地では、木の葉のやさしいざわめきを子守歌に、羊飼いが忠実な犬をわきにはべらせ、まどろんでいる。田園情緒に満ちたバグパイプがお祭りの音楽を奏で、妖精も羊飼いのすばらしく晴れわたった春めく空の下で踊りだす。

「冬」

白銀の世界を、凍え、震えつつ、厳しい嵐の激風にさらされて人は足を踏みしめて走る。あまりの寒さに歯の根もあわない。暖炉の側で静かな安息の日々を送る。一方、外は見わたすかぎり雨に濡れている。氷の上をゆっくりと、倒れないように、細心の注意を払って歩く。荒っぽく足を踏みだすと、まっさかさまに滑って転んでしまう。もう一回試そうと、勢いよく走りだす。氷が割れて、穴が開くまで……鉄の扉から洩れる音が聞こえる……シロッコと北風の音が。風の競演だ。しかしこれこそ冬だ。冬にも楽しみはある。

交響曲第8番 ト長調 作品88

チェコの作曲家、ドヴォルザークの作品です。ドヴォルザークは、新世界交響曲がよく知られていますが、この第8番は、新世界に匹敵する傑作で、よく演奏されています。ドヴォルザークの生地チェコ・ボヘミアの自然と人々の雰囲気であらわしており、のびやかで明るく田園的な曲です。

ご 挨拶

“心をつないで100周年”



平素は玉島信用金庫に格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
今年も倉敷管弦楽団のご協力により第4回 親子で楽しむクラシッ
クコンサートを開催いたします。

大変お忙しい皆様ではございますが、この機会に音楽をお楽しみい
ただければ幸いです。

玉島信用金庫は来年、創立100周年の節目を迎えます。これまで
のご厚情に感謝するとともに、新たな企画をご用意することをお約束
してご挨拶とさせていただきます。

本日はご来場ありがとうございました。

玉島信用金庫 理事長 大熊 龍彦

プログラム

ムソルグスキー / 交響詩「禿山の一夜」ニ短調

ヴォーン・ウィリアムズ / グリーンスリーブズ幻想曲

ヴィヴァルディ / 協奏曲集 「四季」より「春」、「冬」

休憩

1分間指揮者コーナー ビゼー / “オペラ”「カルメン」より前奏曲

ドヴォルザーク / 交響曲第8番 ト長調 作品88

第1楽章 アレグロ・コン・ブリオ

第2楽章 アダージョ

第3楽章 アレグレット・グラチオーソ

第4楽章 アレグロ・ノン・トロppo

プ ロ フ ィ ー ル

倉敷管弦楽団

「美しい音色とよいアンサンブルで質の高い演奏を」を合言葉に昭和49年に設立され、文化都市倉敷市にふさわしいレベルの高い楽団として活動を続け、今年で39年目になります。毎年1回開催する定期演奏会では、日本を代表する指揮者やソリストを招聘し、レベルの高い演奏をめざしております。また、倉敷地方の文化レベル向上に積極的に貢献しております。倉敷音楽祭に毎年のように出演し、ミュージカル、オラトリア「森の歌」、オペラ、バレエの競演、等に出演しています。県内のオーケストラを聴く機会の少ない地域にも、毎年のように出向いて、地域に根差した演奏会を開き、好評をいただいております。これらの活動が評価され、昭和57年には岡山県教育関係功労者表彰、昭和60年には倉敷市文化連盟賞、平成16年には三木記念助成金、平成18年には福武文化奨励賞を受賞しました。来年は、40周年を迎え、ますます充実した活動を展開してまいります。

<指 揮>


菊池 東



倉敷市玉島生まれ。5歳よりヴァイオリンを始める。広島大学工学部発酵工学科卒業。1974年倉敷室内管弦楽団（現倉敷管弦楽団）を設立し、以来、現在まで同楽団の常任指揮者として同楽団の活動・発展に大きく寄与している。1999年より倉敷音楽協会会長。2006年には長年の文化活動が認められ、倉敷市文化章を受章した。倉敷管弦楽団常任指揮者

100th
ANNIVERSARY
心をつないで100周年

まごころ...お客さま FIRST



王島信用金庫